

平成 23 年度広島県大学図書館協議会事業報告

会議

1. 平成 23 年度総会
日時・会場：7 月 28 日 広島女学院大学ヒノハラホール 5F アッセンブリホール
講演：「新聞記事から考える私たちと微生物」
講師：村上 和保（広島女学院大学管理栄養学科教授）
参加：27 機関 51 名 オブザーバ 1 機関 1 名
2. 幹事館連絡会議 第 1 回 6 月 27 日
3. 研修企画委員会 第 1 回 6 月 27 日
4. 共同リポジトリ委員会 第 1 回 11 月 25 日 第 2 回 3 月 9 日
5. 広島県内図書館連絡会議 1 月 27 日

研修会

第 1 回

日時・会場： 10 月 7 日 広島経済大学立町キャンパス
テーマ：「利用促進に向けた図書館の広報活動」
講演：「大学図書館の活動発信力と広報」北野 尚人（株式会社中国博報堂）
事例報告： 吉岡玲（広島市立大学）
植向由香里（広島工業大学）
渡邊さよ（広島経済大学）
参加：参加：20 機関 41 名

第 2 回

日時・会場： 11 月 2 日 広島国際大学広島キャンパス
テーマ：「本は長いともだち～本をなおす・本を残す・本を伝える～」
講演：「本のお医者さん（仮）」小谷 英輔（兵庫ナカバヤシ（株））
参加：21 機関 43 名

第 3 回

日時・会場： 12 月 8 日 広島大学図書館ライブラリーホール
テーマ：電子書籍と大学図書館
講演：「もう一つの電子書籍～情報を生産する大学に所属する図書館の役割～」
甲斐 重武（広島大学図書館）
参加：17 機関 40 名

共同リポジトリ勉強会

日時・会場： 11 月 25 日 広島経済大学図書館
講演：「大学図書館コンソーシアム連合(JUSTICE)：現在の活動と将来の展望」
守屋 文葉 (JUSTICE)
講演：「効果的なコンテンツ収集の取組」若生 政江（城西大学水田記念図書館）
報告：「続・広島の知を世界へ」渡辺さゆり（日本赤十字広島看護大学）
参加：14 機関 27 名

事業

1. ホームページの運営
2. 共同リポジトリの運営・充実・稼働
3. マップ（ひとめでわかる広島県大学図書館協議会）発行

平成 23 年度広島県大学図書館協議会総会議事録

日時：平成 23 年 7 月 28 日(木) 13:00～17:00

会場：広島女学院大学 ヒノハラホール 5F アssenブリホール

参加：加盟館 27 大学 (51 名) オブザーバ 1 館 (1 名)

1. 開会 当番館 広島女学院大学
2. 挨拶 当番館 広島女学院大学館長 柚木 靖史
代表幹事館 広島大学図書館長 富永 一登
3. 講演 講師: 村上和保
演題: 新聞記事から考える私たちと微生物
内容: 微生物に関して、身近な症例・事例と対応策。またあらゆる感染症例を挙げる。
4. 議長選出 慣例により、当番館である広島女学院大学図書館の柚木館長を選出した。
議事に先立ち、参加者全員の自己紹介を行った。
5. 協議
議事日程を変更し、協議題(1)および(2)について報告に先立って協議した。
 - (1) 広島商船高等専門学校の加盟について
代表幹事館広島大学の藤井グループリーダーから広島商船高等専門学校の入会が提案された。広島商船高等専門学校からの加盟申請が提出されている旨の説明と、広島大学からの推薦の発言があり、加盟について異議なく承認された。
承認後、広島商船高等専門学校の上杉館長から挨拶があった。
 - (2) 福山市立大学の加盟について
代表幹事館広島大学の藤井グループリーダーから福山市立大学の入会が提案された。福山市立大学からの加盟申請が提出されている旨の説明と、尾道大学からの推薦の発言があり、加盟について異議なく承認された。
承認後、福山市立大学の辻氏から挨拶があった。
6. 報告
 - (1) 平成 22 年度事業報告について
代表幹事館広島大学の甲斐副館長から平成 22 年度の事業として総会、各委員会等の開催、研修会等について報告があった。
 - (2) 平成 22 年度決算および監査報告について
代表幹事館広島大学の尾崎主査から平成 22 年度の決算報告が行われたのち、海上保安大学校図書館の後路専門官から監査報告があり、異議なく承認された。

(3) 平成 22 年度広島県内図書館連絡会議について

委員館である広島経済大学の岡田次長から平成 22 年 12 月 15 日に県立図書館に於いて開催された連絡会議の概要が報告された。

(4) 平成 22 年度共同リポジトリ委員会

共同リポジトリ委員会の西川部長から、平成 22 年度の共同リポジトリ委員会報告があった。また、HARP の活動と CSI 委託事業についても報告された。

7. 協議(続き)

(3)平成 23 年度事業計画について

代表幹事館広島大学の甲斐副館長から平成 23 年度の事業計画案が提出され、異議なく承認された。

(4)平成 23 年度予算書について

代表幹事館広島大学の尾崎主査から平成 23 年度予算案が提出され、原案通り異議なく承認された。

(5)ひとめでわかる広島県大学図書館協議会 2011 年度の作成について

代表幹事館広島大学の甲斐副館長からひとめでわかる広島県大学図書館協議会 2011 年度の作成について説明があり、異議なく承認された。

(6)ホームページ運用規定について

代表幹事館広島大学の藤井グループリーダーからホームページ運用規定について説明があり、原案通り異議なく承認された。

(7)平成 23 年度監査館について

幹事館連絡会議からの推薦により以下の通り提案され、異議なく承認された。

[平成 23 年度監査館]

鈴峯女子短期大学

(8)平成 23-24 年度共同リポジトリ委員館の選出について

幹事館連絡会議からの推薦により以下の通り提案され、異議なく承認された。

[平成 23-24 年度共同リポジトリ委員館]

広島大学、尾道大学、日本赤十字広島看護大学、比治山大学、
広島経済大学(委員長館)、広島文教女子大学

(9)平成 23 年度広島県内図書館連絡会議委員館の選出について

幹事館連絡会議からの推薦により以下の通り提案され、異議なく承認された。

[平成 23 年度広島県内図書館連絡会議委員館]

県立広島大学、広島工業大学、比治山大学

(10)次期開催館について

代表幹事館広島大学の藤井グループリーダーから、平成 24 年度総会の開催館として当番にあたる広島文教女子大学が提案され、異議なく承認された。これを受けて広島文教女子大学の坂手館長から挨拶があった。

8. その他

広島県立図書館の事業について

広島県立図書館の鍛冶副館長から、広島県立図書館の事業について、協力要請の説明と御礼があった。

9. 承合事項

図書館におけるパソコンとプリンタの環境について

日本赤十字広島看護学校の渡辺参事より、図書館におけるパソコンとプリンタの環境についての説明と回答に対するお礼があった。

最後の発言の場において、福山大学田中館長より二点の質問があり、以下のとおり回答があった。

Q1: 広島県立図書館のネット予約貸出しサービスの利用申込方法について。

A: 申込方法については県立図書館現地に赴くか、郵送で書類をやり取りするかの二種類の方法がある。

Q2: 参加者に配布した広島経済大学の冊子『読書の達人がススめるこの一冊』のワーキンググループ構成について。

A: この冊子を作成・編集したのは同大教員 5 名、図書館員 1 名職員 1 名の合計 7 人で構成されたワーキンググループである。

10. 閉会

幹事館の広島経済大学片岡館長から閉会の挨拶があり、閉会した。

閉会后、希望者に対しチャペル・歴史資料館・図書館の見学会があった。

平成23年度広島県内図書館連絡会会議議事録

- 1 日 時 平成24年1月27日（金） 午後3時～午後4時
- 2 場 所 広島県立図書館応接室
- 3 出席者
 - (1) 委 員
県立広島大学学術情報センター図書館 学術情報課長 矢山一広
比治山大学図書館 図書課長 福田房子
広島工業大学附属図書館 森保信吾
広島市立中央図書館 課長補佐（事）館内サービス係長 出原陽子
福山市中央図書館 司書 喜多村広子
広島県立図書館 主幹 平田文子
 - (2) オブザーバー
広島県立図書館 館長 内田健二
 - (3) 事務局
広島大学図書館 図書学術情報普及グループリーダー 江森早穂
広島大学図書館 図書学術情報企画グループ主査 尾崎文代
広島県立図書館 副館長（兼）事業課長 鍛冶美和子
広島県立図書館 総務課長 松本雅之
広島県立図書館 主査 八田節子
広島県立図書館 非常勤職員 國光美津恵

4 議題

- (1) 広島県立図書館の改革とその後の状況について
 - ア 事務局説明
資料2「広島県立図書館「改革」に係る実績数値」に基づいて、平成21年12月の広島県事業仕分けを契機として取り組んだ改革のメニューの内容と関連データについて説明した。特に、「物流の改善」については、資料3「物流の改善等について」に基づいて、広島県立図書館と大学図書館間の相互貸借等の状況について説明した。
 - イ 意見等
特になし。
- (2) 広島県内大学図書館等と広島県内公共図書館の連携について
 - ア 大学図書館等と公共図書館の連携の現状について
 - (ア) 事務局説明
大学図書館等と公共図書館の連携の現状について、この会議に先立って開催された広島県公共図書館協会ネットワーク協議機構の会議で報告された内容を説明した。主な内容は、次のとおりである。
 - ・ 平成23年4月から、広島県立図書館と大学図書館等の間の物流に係る経費を、広島県立図書館が負担することとしたことに伴う相互貸借件数の改善について（資料3「物流の改善等について」参照）
 - ・ 平成23年4月から開始したインターネット予約貸出し資料を大学図書館で受け取るサービスの利用拡大について（資料4「広島県立図書館インターネット予約貸出しサービスを御利用ください」参照）
 - ・ 来（ら）いぶらりネットへの参加状況について（資料3参照）
 - ・ 公共図書館が大学（大学図書館等が当事者でないものを含む。）と連携した最近の事案について（資料5「大学図書館等との連携に関する諸資料」参照）

(イ) 主な意見等

- ・ 広島県立図書館のインターネット予約貸出しサービスの利用は、余り多くない。十分な広報ができていない。(県立広島大学)
- ・ 広島県立図書館と大学図書館等間の物流に係る経費を広島県立図書館が負担してくれるので、大変ありがたい。条件を整えば、今後、来(ら)いぶらりネットに参加したい。(比治山大学)
- ・ 広島県立図書館から資料の借受件数は、増えつつある。また、来(ら)いぶらりネットに参加しているが、ほとんど使っていない。なるべく負担のないような形でうまく利用していけたらと思う。(広島工業大学)
- ・ 大学図書館との相互貸借件数が増加している。広島県立図書館と大学図書館等間の物流に市町立図書館と大学図書館等との相互貸借資料も載せてもらえると、経費を負担する必要がなく、助かる。(福山市)
- ・ 一般の利用者は、来(ら)いぶらりネットで蔵書検索をし、大学図書館が所蔵している資料を借りてほしいと言ってこられる例が多い。来(ら)いぶらりネットへのデータ提供をお願いしたい。(広島県立図書館)
- ・ 広島市立大学附属図書館と2日間の職員交換研修を行っている。広島大学図書館とも同様の研修を行う方向で調整中である。(広島市)

イ 大学図書館等と公共図書館の連携についての提案

(ア) 事務局説明

広島県公共図書館協会ネットワーク協議機構の会議で取りまとめた「大学図書館等に対して行う提案について」、説明した。内容は、次のとおりである。

- a 「県内図書館等 新聞・雑誌総合目録」を平成22年度以来2年振りに改訂することとし、この作業に必要なデータを提供していただきたいこと。
- b 研修会や講演会の類いを、公共図書館との共催で実施できるよう、あるいは、各々が実施する研修会や講演会の類いに「相互乗入れ」が可能となるよう、配慮していただきたいこと。

(イ) 主な意見等

- ・ 「県内図書館等 新聞・雑誌総合目録」の改訂に必要な調査は、3月中に依頼し、4月から5月にかけて回答していただく予定である。(事務局)
- ・ 研修会や講演会の「相互乗入れ」については、各大学図書館等が研修会等を行うときに、公共図書館にも知らせるという方法でよいのか。また、同様のことを広島県大学図書館協議会も行うという理解でよいのか。(広島工業大学)
(事務局) そうである。

(ウ) 審議結果

事務局の提案について、特に異議等なく、原案のとおり承認された。

(3) その他

- ・ 県立広島大学学術情報センター図書館から、広島県立図書館インターネット予約貸出しサービスについて、教職員から、受取館の登録方法が難しいといった意見があった旨、発言があった。
- ・ 広島県大学図書館協議会事務局(広島大学図書館)から、加盟館の位置や利用条件等を記載した「ひとめでわかる広島県大学図書館協議会2011」を作成したので、活用してもらいたい旨、発言があった。

平成 23 年度共同リポジトリ委員会報告

1. 参加館

平成 24 年 2 月より福山市立大学附属図書館が参加し、14 機関となった。

2. 委員会の開催

第 1 回委員会 平成 23 年 11 月 25 日（広島経済大学図書館）14 機関 27 名

議事：

- 報告
1. 平成 23 年度事業について
 - ・ CSI 委託事業によるアルバイトの採用。
 - ・ コンテンツの作成・登録の推進。
 2. 平成 23 年度 CSI 委託事業について
 - ・ 委託事業費 50 万円の活用依頼。
 3. 参加館からの進捗報告。

第 2 回委員会 平成 24 年 3 月 9 日（広島経済大学図書館） 14 機関 24 名

議事：

- 報告
1. 平成 23 年度事業について
 2. 平成 23 年度会計報告
 3. 平成 23 年度 CSI 委託事業について
 - ・ コンテンツ登録状況、委託事業報告書について
 4. 参加館・未参加館からの進捗報告
- 協議
1. 平成 24 年度 CSI 委託事業について
 - ・ 24 年度のコンテンツ登録見込み数から、委託費の要不要を議論した結果、新規加盟館の存在および委託費の求心性を考え、引き続き申請することになった。
 2. 平成 24 年度事業計画について
 - ・ CSI 委託事業と HARP 勉強会の実施。
 - ・ サーバのリニューアル検討
 3. ホストサーバのリニューアルについて
 - ・ 積立金は計画通りとし、ソフトウェアのリプレイスをテスト・検討したうえで、時期を決定することとなった。

3. 勉強会の開催

上記委員会終了後、勉強会を行った。内容は事業報告を参照。

4. 発表

- ・ 平成 22 年度 CSI 委託事業報告交流会（平成 23 年 6 月 13-14 日学術総合センター）
広島工業大学 森保信吾氏
- ・ 鹿児島県学術共同リポジトリ講演会（平成 23 年 11 月 29 日鹿児島大学）
日本赤十字広島看護大学 渡辺さゆり氏

「ひとめでわかる広島県大学図書館協議会 2011」(ひとめマップ) 報告書

研修企画委員長 渡辺さゆり (日赤広島看護大)

1 目的

県大図協のアピールおよび、各図書館窓口での利用者との円滑なコミュニケーションツールの作成。

2 方法

平成 23 年度総会での事業の承認を受け、研修企画委員会の下に設置したワーキンググループ (5 大学 5 名) により、企画・実務作業を行った。作成費は県大図協一般会計の予備費より支弁した。

3 コンセプト

・各図書館の利用方法が「一目」で案内できる・A3一枚両面印刷で携帯できる8つ折のリーフレット形式とする・キャラクターを登場させる。

4 実施内容

平成 23 年 9 月 30 日 WGキックオフミーティング
平成 23 年 10 月 4 日 幹事館・研修企画委員館へ「ひとめマップ」作成案を提案
平成 23 年 10 月 6 日 加盟館へ原稿依頼、編集作業
平成 23 年 11 月 30 日 幹事館・研修企画委員館へ「ひとめマップ」原稿完成を報告
平成 23 年 12 月 2 日 加盟館へ校正依頼、編集作業
平成 23 年 12 月 25 日 納品
平成 24 年 1 月 4 日 加盟館へ発送
平成 24 年 2 月 24 日 幹事館・研修企画委員館へアンケート実施案報告
平成 24 年 3 月 2 日 加盟館へアンケート実施、集計
平成 24 年 3 月 29 日 WGへアンケート報告

5 評価

アンケートからは、ひとめマップについて、おおむね好意的な意見が多かった。(詳細は添付の報告書のとおり。) 反省点として、後期の授業開始である 10 月くらいに配布するのが望ましいことと、県大図協を意識するあまり、ネーミング等利用者への配慮が不足していたことがあげられた。

6 今後の展望

平成 24 年度版のマップを同様の形で発行する必要性はないと考えるが、今後は、電子版等で更新を加えていくことを検討したい。また、今回の成果として、マップの発行のみならず、若手職員が他大学のメンバーと協同で仕事をするのが評価されたことを受け、次年度にむけて、ひとめマップWG方式を取り入れた活動を期待する。
また、キャラクター「ひとめちゃん」を活かした活動も期待したい。

7 構成員

宮原詩麻 (広島経済大学) 渡辺文子 (広島修道大学) 荘原智恵 (広島女学院大学) 三宅亜弥 (広島大学) 竹下直子 (日本赤十字広島看護大学)
尾崎文代 (広島大学・事務局) 渡辺さゆり (日本赤十字広島看護大学・研修企画委員長)

8 添付資料

「ひとめでわかる広島県大学図書館協議会 2011」(ひとめマップ) アンケート結果報告

「ひとめでわかる広島県大学図書館協議会2011」(ひとめマップ)

アンケート結果

平成24年5月21日(月)

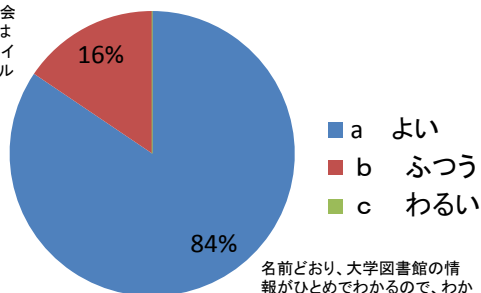
アンケートの概要

- 目的:「ひとめマップ」の評価及び今後の「ひとめマップ」を含めたWGのあり方と方向性を検討するため、加盟館を対象としたアンケートを実施した。
- 方法:加盟館へメールにて依頼
- 内容:ネーミング、形態、表面、裏面、キャラクター、配布部数、利用者の反応、活用方法、今後のあり方等
- 実施期間:平成24年3月2日～3月16日
- 回答:26館(加盟館27館)60人

「ひとめでわかる大学図書館協議会2011」のネーミングは？

大学図書館協議会がわかるわけではないので、サブタイトルの方がタイトルかな

「ひとめマップ」の愛称の方は良い



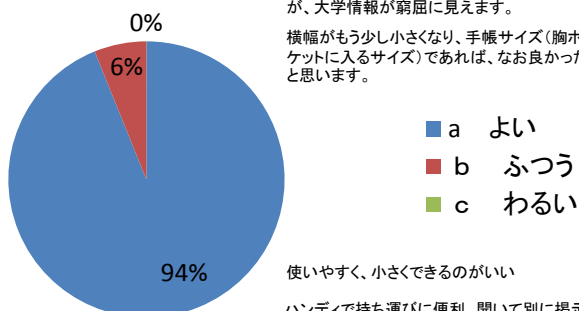
名前どおり、大学図書館の情報がひとめでわかるので、わかりやすく覚えやすい
学生に可愛いと言われました

- 広島県の大学図書館のすべてがよくわかり、すばらしいと思います。
- 実物とネーミングのギャップがある。
- 名前どおり、大学図書館の情報がひとめでわかるので、わかりやすく覚えやすいと思います。
- わかりやすいネーミングでした
- 学生に可愛いと言われました
- とてもよい。
- 広島県大学図書館協議会にこだわったのは、理解できるのですが、マップを使う人(おもに学生)とするならば、図書館協議会ってなに？ではないでしょうか。
- 【コメント】 ・誰に見てもらいたいのか、対象者が明確でない。
- 「〇〇協議会」の文字が大きいので、マップより協議会の何か、というイメージが先行する。県内大学図書館のマップであるところをもう少し強調した方がよい。
- 分かりやすいネーミングだと思います。
- 県内大学図書館が一覧でき有用
- 「協議会」の内容や活動がわかるわけではないので、「協議会」という字句は不要だったかも…
- 今案で県内の図書館が一目で分かるものはなかったから。
- 「ひとめマップ」の愛称の方は良いと思う。「大学図書館協議会」を入れたのであれば、「加盟館一覧」など補足が無いと内容と合わない気がする。
- 「ひとめマップ」というネーミングは良いと思うのですがひとめでわかる大学図書館協議会というのは、大学図書館協議会がわかるわけではないので、サブタイトルの方がタイトルかなと思いました。
- もっと親しみやすいものがよかった
- 県大図協としての宣伝効果はあった

形態(8つ折)は？

ポケットサイズを意識されての事と拝察しますが、大学情報が窮屈に見えます。

横幅がもう少し小さくなり、手帳サイズ(胸ポケットに入るサイズ)であれば、なお良かったと思います。

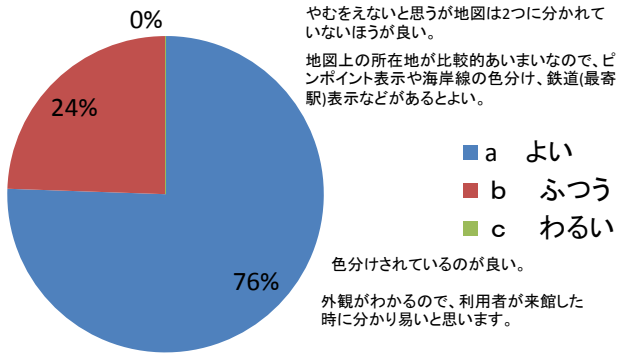


使いやすく、小さくできるのがいい

ハンディで持ち運びに便利、開いて別に掲示も可能で工夫が感じられる

- 大きすぎず取りやすいサイズ
- 使いやすく、小さくできるのがいいと思います。
- ポケットサイズを意識されての事と拝察しますが、大学情報が窮屈に見えます。
- 携帯しやすいサイズで便利
- 手にとりやすく製本の手間がかからないので、今後の参考にしたい。
- 8つ折で、手帳にはさんだりと保管持ち歩きに便利だと思います。
- 連絡先一覧が裏面にあり、利用しやすいと思います。
- もう少し斬新さがあって良かったようにも思います。コストが掛かりますかね。
- 手札版で良いと思います
- 便利で大ききよい。
- 手に取り易くてとてもいいと思います。
- 手ごろなサイズなので持ち歩きに便利。
- 携帯し易く、広げると1面で全体が目に入り、大変良いと思います。
- コンパクトで良いと思います。
- ハンディで持ち運びに便利、開いて別に掲示も可能で工夫が感じられる
- 持ち運びに適したサイズだと思。
- 携帯にちょうどよいと思います
- ちょっと開きにくいですが、でも、文字を小さくし過ぎてもいけないサイズが大きすぎると手軽に持ち運びは難しくなるし…
- ポケットサイズで手ごろ。
- 持ち運びしやすいサイズだと思います。
- 携帯に最適な大きさ

表面(写真)は？

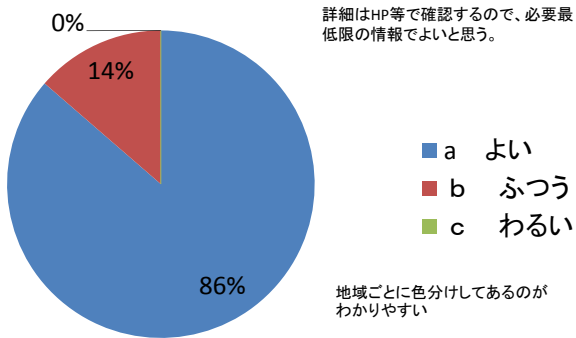


7

- 色分けされているのが良い。
- やむをえないと思うが地図は2つに分かれていないほうが良い。
- 地図上の所在地が比較的あいまいなので、ピンポイント表示や海岸線の色分け、鉄道(最寄駅)表示などがあるとよい。
- 図書館が独立棟でない場合は、階数を入れてもらえば、よくわかります。
- 実際に訪れる際にイメージがわかりやすく良い。
- 各大学の図書館の建物や位置が分かるような写真でよかったです。
- 広島にはたさん大学図書館があり、びっくりしました。
- なかなか良かったと思います。
- 訪ねた時の目印になり良かったと聴きました。
- 色分けがきれい。
- 外観がわかるので、利用者が来館した時に分かり易いと思います。
- コンパクトで良い。
- 写真は良いが、地図にアストラムラインやJRの路線が書かれているのもっと分かりやすいと思う。
- きれいに印刷されていると思います。
- 訪問時に外観写真によりイメージが湧きやすい
- 実際に行く際の目印となるのでよい。
- 地図は少し見にくいと思う。
- 良いと思います！
- 一校ごとの枠のサイズは統一した方が良いと思う。
- ひとめちゃん顔がアップになっててもいいかなと思いました。
- 外観にこだわったところはよい

8

裏面(各大学の情報)は？

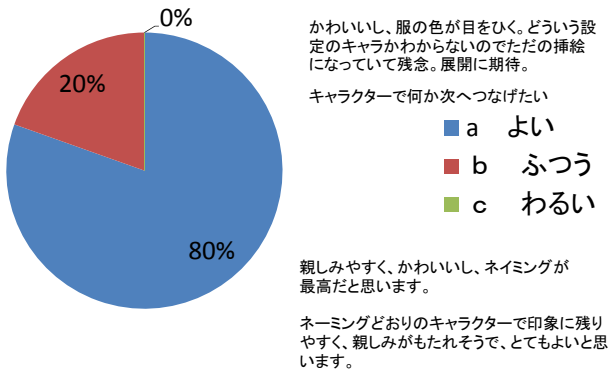


9

- 地域ごとに色分けしてあるのがわかりやすい
- 地域によって色分けされているのでわかりやすかった。
- 各大学の情報(貸出の可否、アクセス方法など)を比較することができるので、利用する際に便利だと思います。
- 一覧出来るので、使いやすいと思います。
- スペース上の問題はありますが、可能であれば大学名を太字ではなくもう少しフォントを大きくしてみたいかがどうか。
- 色分けがしてあり、カラフルでいいと思います。
- Good
- 階数が多いので、パッと見た時に圧迫される。分館は小さくすると、本館と同じ内容のところは割愛するなどどうか。
- 色分けしてあるのが良いと思います。
- 各館の利用サービスが一覧でき比較できる
- 地区別に色分けしてあるのがよい。
- 詳細はHP等で確認するので、必要最低限の情報でよいと思う。
- コンパクトにまとまっていて良いと思います。もっと詳しく知りたい場合はホームページを見ると思うので、URLもあつたら便利ではないでしょうか
- 欲を言えば、横幅がもう少し小さくなり、手帳サイズ(胸ポケットに入るサイズ)であれば、なお良かったと思います。
- 必要最低限の情報しか載せられないスペースだと思うのでちょうど良いと思います。
- 各館の枠内に、閲覧問合せ用の電話が掲載されていると使いやすいと思う。(スペースに限りがある十一覧で見ればよい、という点はわかるのですが)アクセスが載っているのは新卒だと思います。
- 各大学図書館の情報が載っていて、利用する際に自分で確認ができるところがよいと思いました。
- ひとめでわかるのでよい

10

キャラクター<ひとめちゃん>は？



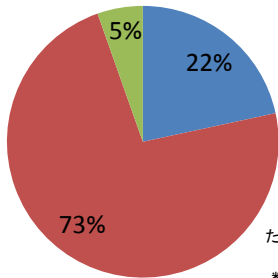
11

- 親しみやすく、かわいいし、ネーミングが最高だと思います。
- 何とも言えない。
- ネーミングごとのキャラクターで印象に残りやすく、親しみもたれそうで、とてもよいと思います。
- 素晴らしい。
- 可愛いです
- とても可愛らしく、「ひとめ」という名前もとてもよい。
- かわいい！！
- かわいい。
- 親しみやすい。
- 何歳ですか。
- 親しみもてるキャラクターです。
- かわいい、と好評です。
- かわいいです☆手書きっぽいところがまたゆるい感じで☆☆
- このキャラを相互協力のシンボリックに使えないでしょうか？
- WGで作っていた缶バッジをILLの担当者が付けたとかILLの学内広報に使えるよう、キャラを公開できないでしょうか？
- かわいいし、服の色が目をはく。どういう設定のキャラかわからないのでただの挿絵になっていて残念。展開に期待。
- キャラクターで何か次へつなげたい



12

配布部数(75部)は？



本学ではちょうど良い量です。

- a よい
- b ふつう
- c わるい

たくさんの人に配布するには数が少ない。

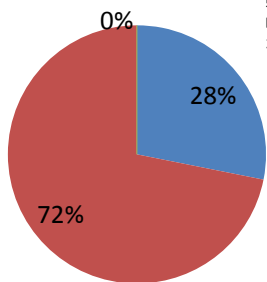
数が少ないので、積極的に利用者
に、持って行くように声かけがで
きないかな

13

- 適当だと思います。(分館にも配布しました)
- たくさんの人に配布するには数が少ない。
- たくさん利用者へ配布できるようにしてほしい。
- もう少し部数があれば、より利用者に配布が行いやすいと思います。
- 自由に持ち帰れるとすぐになくなりそうなので、必要に応じて手渡しています。
- 数が少ないので、積極的に利用者へ、持って行くように声かけができないかなと
- 学生に見せるのであれば、もう少し部数を多くした方がよい。
- 本館では、一日の貸出平均人数が12人と少なく、また、配布期間も一ヶ月半でしたので、残部がありました。
- 本学ではちょうど良い量です。
- (足りなくなったら、各館で印刷してもよいかもれません)
- 学生にどんどん持って行ってもらうためには少ないと思います。
- 年度を通して使用するのであれば、もう少し部数がある方がよいと思う。
- "よくわかりません。学内向けならば少ないのかな？毎年配布の物ならば年度末に頂く数としては妥当なのかなとも思います。"
- 少ないので自館で増刷した

14

「ひとめマップ」の反応は？



学生からの反応が良く、他大学の図書館に興味を持ち、実際に行ってみたいという声が聞かれた

- a よい
- b ふつう
- c わるい

カウンターで手にされる方をまだ見かけていない。

15

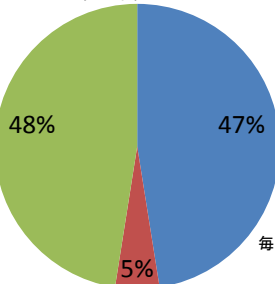
- 今は「自由にお取りください」のところに置いてありますので、あまり反応はわかりません
- 学生からの反応が良く、他大学の図書館に興味を持ち、実際に行ってみたいという声が聞かれた
- 大学図書館の情報が分かりやすいので、特に学生に対しては他大学図書館の利用が可能であることを広報したり、利用を促進するのによいツールと好評です。
- 学生より、先生が持って行かれます。紙面で一度に見渡せるのがよいと言っておられました。
- カウンターで手にされる方をまだ見かけていない。
- 設置後、少しずつ減っています。最初に設置した後、すぐに数人の学生が手にとって興味深く見入っていたのが印象に残っています。
- 普段カウンターにいないので、全体的な反応はわかりませんが、よく図書館を利用する職員から、ひとめマップに載っているのは学外者ができる図書館ですか？と聞かれました。
- 学生及び教職員には、渡したことが無いので不明。
- 分かりやすくて良いと好印象でした。
- 教員が県内の図書館の多さに驚いていました。

16

次年度発行を希望しますか？

このマップは、財政的な理由もあり毎年印刷して配布するのは難しいと思います。PDFファイルにして協議会HPからダウンロードできるようにしてはどうでしょうか？

ぜひ変更がなくても発行したほうが良いと思います。



- a 希望する
- b 希望しない
- c どちらでもよい

毎年でなくてもよいのではないのでしょうか？

17

- 毎年でなくてもよいのではないのでしょうか？
- 発行されるのであれば、年度始めに近い時期の方が良いのでは…？
- 例えば、2013版は2013年5月辺りとか…。
- 発行するのであれば、数を増やしてほしい。
- 引き続き利用者に対して配布したいので、発行していただきたい。
- 「ひとめマップ」は全員には配布できないため、ポスター代にして掲示する方がPR効果が高いと思われまます。
- 情報の変更が大幅であれば発行して欲しい
- 情報が古くなると意味がないので、更新しつつの発行であれば、いいと思います。
- ・年度を記載せず、発行日を小さく入れておけば、隔年発行くらいで良いと思う。
- 各大学図書館の情報が大幅に変更されるようであれば改定版の発行が必要
- 2012年版の発行を希望します。
- ぜひ変更がなくても発行したほうが良いと思います。
- このマップは、財政的な理由もあり毎年印刷して配布するのは難しいと思います。PDFファイルにして協議会HPからダウンロードできるようにしてはどうでしょうか？
- こういった情報が提供されることで、お互いに各図書館の利用がしやすくなると思います。
- 今回の結果を踏まえたバージョンアップ版の配布を希望する。

18

どのように使っていますか？その1

- レファレンスで自館に資料がなく他館に有ったときのアドバイスに利用しました。
- 情報リテラシーの授業が始まった時に、先生方に紹介しようと思います。
- カウンターに設置近隣の他大学を利用する学生等利用者に配布
- カウンターに、開いてパウチしたものを置いて、他館の案内をする時に使っている。
- 利用者へ県内大学図書館利用に関する情報提供に使用しています。
- 特に他大学を利用したいという希望がある学生に、配布しています。
- 閲覧での提供。図書委員配布他
- 教職員に紹介したら、数名が取りに来られた

19

どのように使っていますか？その2

- ラミネート加工したものをカウンターに置いています。他大学を利用したい学生にすぐに示せるので便利です。
- 自館の利用案内と並べて、カウンターに置いています。
- それぞれの大学の近くにある高校の図書館に何部かずつ送ってはどうか。
- 図書館入口の掲示板に表・裏とも掲示をしています。また、カウンターに設置し、利用者に案内できるように、ご自由にお持ち帰りいただけるようにしています。
- ホワイトボードに記事内容を表、うら(拡大)して掲示している。
- 広げてパウチしてカウンターにレファレンスツールとして常備しています。

20

自由記述(マップ関係)

- 発想がとても良い。まとまることで価値が高まる。情報が1枚にまとまっているのでとても便利。
- 地区(エリア)ごとにまとまっているところがとても分かりやすい。
- 広島県内にある分館も含むすべての図書館を網羅したものは、初めて見た気がします。
- 地区ごとに色分けされているのは分かり易くて良いと思います。
- 「ひとめマップ」を大判印刷したものがあればいいと思います。
- (館内掲示をすると目を引くと思います。)
- 親に1部あげました。こんなに図書館ってあるんだと驚いてました。実際に私もこんなにあるんだと驚きました！
- 予算の関係もあると思いますが、もう少し丈夫な紙の方が何度も開閉するので破れなくていいと思いました。どうも扱いが激しいのか折れ目のところから弱くなって破れてしまうので・・・
- 大学間の交流を図る上でも、このような試みは良いように思います。自館だけではなく複数館が協力することで、より良いものを利用者に提供できるのではないかと思います。

21

自由記述(マップ以外)

- 若手中心で、作ったということに大きな意味があると思います。図書館に勤務して目の浅い職員の方の意見は利用者に近く、大切にしたいと思っています。新しいことをしようと思う時、その中にヒントがあります。
- このマップの出来具合や反応よりも、共同作業に意義があったのではないと思う。担当大学・担当者を替えて来年もトライしてはどうか
- ・共同作業をすることで、担当者同士の仲間意識が高まり良かったのではないと思う。今後も発展させたら良いと思う。
- 県大図協の活動として形が残ったことは意義があったと思います。今後は、データの更新をするためにWGを残すか、研修企画委員会で更新するの考える必要があると思います。
- 各図書館から代表者が出て協力して仕事を形として「作る」過程に意義あり
- 研修のあり方の一環としてWGの継続を希望する

22

おまけ WGの感想

- 振り返ってみると若い力と中堅の力と熟年の力が、よいアンバイにコラボできたのではないかと、とてもすがすがしく感じています。
- 他大学の皆さんとひとつの仕事ができてよかった！
- この「感じ」を、たくさんの人に味わってほしいというのが今の私の正直な気持ちです。
- 他大学の方とたくさん意見を出し合って、ひとつのものを作って、それに対しての様々なレスポンスがあって・・・
- 皆さまのおかげでちょっとは成長できたかなーなどと思っています。本当にありがとうございました。

23

平成 24 年 6 月 28 日

研修企画委員会ワーキンググループ設置について（報告）

広島県大学図書館協議会代表幹事館 広島大学図書館

1. 主旨

平成 23 年度に県大図協で作成した「ひとめでわかる広島県大学図書館協議会一覧」（略称ひとめマップ）は、県内の若手図書館員を登用し、設置したワーキンググループによるものである。このワーキンググループによる成果は、作成したマップそのものだけでなく、県内大学図書館間の若手を中心とした企画力であり、若手の活動による組織の活性化であったと言える。今年度は、その成果を県大図協の事業に活かし、若手の育成と連携による今後のさらなる活性化をはかるため、県大図協研修企画委員会の下に、研修会の企画運営を補助するワーキンググループを、試行的に設置する。

2. ワーキンググループメンバー

上田大輔・三宅亜弥（広島大学）、宮原詩麻（広島経済大学）、渡辺文子（広島修道大学）、
荘原智恵（広島女学院大学）、難波希衣（広島工業大学）、内方恵（広島文化学園大学）、
島井涼子（鈴峯女子短期大学） 以上 8 名。

3. 業務内容

研修内容の検討、講師招聘、事前準備等、県大図協研修会の企画運営補助。

4. 経緯

平成 24 年 5 月 1 日 研修企画委員館・幹事館に提案

平成 24 年 5 月 9 日 メール審議にて承認